

川崎市議会議員 “青のり”こと、

青木のりおの

青のりレポート!

AONORI REPORT
http://aokinorio.com



朝ごはんでもおなじみ!

市内経済について

市が予算を組むにはどうしたって税金が必要で、街が元気にならないと税金は増えませんが、国会ではデフレ脱却に向けて全力で取り組んでおります。このデフレ脱却の方向性を、皆さんの生活まで落とし込むのが私たち市議会議員の仕事です。では何を落とし込まなければいけないのか。それはズバリ適正価格だと考えます。

働き方改革で休み方が話題になりますが、本当にしなければいけないのは、生産性の向上だと考えます。要するに、私たちの仕事が安かろう悪かろうになっていないか、本当に適正価格になっているのか、より良いサービスを提供して、ただ物を売るではなく、そこに物語や体験を作っていくという事、そうしたことで考えて仕事をしているのか、本当に良いものを見極めるために、相手により良いものを提供しているのかという事を考えたい



青木のりお 昭和52年8月26日生まれ

- 4期連続トップ当選 (29才初当選)
- 議会運営委員会委員長
- 健康福祉委員長、まちづくり委員長歴任
- 川崎市幼稚園父母の会、連合会前会長、高津消防団員、保護司
- 英国ボーンマス大学院国際経営学Dip取得、産業能率大学、サレジオ学院中高、洗足学園小、川崎めぐみ幼
- 両親、妻、息子3人の7人家族
- フラッグフットボール日本選手権3連覇 W杯日本代表、キリマンジャロ登頂成功(5,895m)

青のりカフェ

(地域座談会) 各地で開催中!!

どなたでも 何人でも 申し込み受付中!

川崎市議会議員 青木のりお事務所

〒213-0029 神奈川県川崎市高津区東野川2-29-11

TEL 044-788-8899
FAX 044-788-6440
E-mail info@aokinorio.com
HP http://aokinorio.com

新型コロナウイルスについて

政府の要請を受け、川崎市は様々なイベントを2月27日から中止、または延期しています。学校は3月4日から休校となりました。事態が早期に収束するよう取組み、その後の景気の影響についても対策してまいりたいと考えます。お困りの事や今後についてのご意見がございましたら、別紙アンケートにて皆様の声をお聞かせ下さい。

新型コロナウイルス 電話相談窓口(コールセンター)について

新型コロナウイルス感染症に関する一般的なご相談はコールセンターにお問い合わせください。※医学的な案内は致しかねますので、あらかじめご了承ください。

川崎市新型コロナウイルス感染症コールセンター

044-200-0730 8:30~17:15 (土曜・日曜・祝日を除く)

※相談受付時間外は神奈川県新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル、厚生労働省の電話相談窓口等にご相談ください。

神奈川県新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル

045-285-0536 9:00~21:00 (平日及び休日とも)

厚生労働省の電話相談窓口(コールセンター)

0120-565653 9:00~21:00 (平日及び休日とも)

帰国者・接触者相談センターについて

発熱、呼吸器症状などがある方で新型コロナウイルスへの感染が疑われる場合に、診療体制が整った医療機関を適切に受診できるよう、帰国者・接触者相談センターを開設しています。※ご連絡いただいた全ての方に対して新型コロナウイルス感染症の検査を実施するわけではなく、ご相談の内容によっては、通常のかかりつけ医等に受診していただくこともあります。なお、現時点では新型コロナウイルス感染症以外の病気の方が圧倒的に多い状況であり、インフルエンザ等の心配があるときには、通常と同様に、かかりつけ医等に御相談ください。

帰国者・接触者相談センター連絡先 (平日の午前8:30から午後5:15)

	電話番号	ファクス番号	電話番号	ファクス番号
川崎市	044-201-3189	044-201-3291	宮前区	044-856-3217 / 044-856-3274
幸区	044-556-6715	044-556-6659	多摩区	044-935-3217 / 044-935-3394
中原区	044-744-3104	044-744-3342	麻生区	044-965-5218 / 044-965-5204
高津区	044-861-3341	044-861-3308		

対応時間外は区役所守衛室の電話番号を案内します。

感染症対策へのご協力をお願いします

手洗い

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

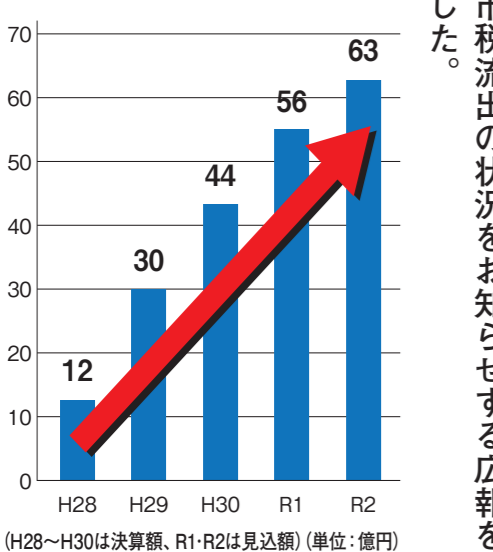
ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。外先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗います。

正しい手の洗い方

- ① 流水でよく手を洗います。手洗いの際は、流水でよく手を洗います。手洗いの際は、流水でよく手を洗います。
- ② 手の甲を洗います。手の甲を洗います。手の甲を洗います。
- ③ 手の指を洗います。手の指を洗います。手の指を洗います。
- ④ 手のひらを洗います。手のひらを洗います。手のひらを洗います。
- ⑤ 手の甲を洗います。手の甲を洗います。手の甲を洗います。
- ⑥ 手の指を洗います。手の指を洗います。手の指を洗います。
- ⑦ 手のひらを洗います。手のひらを洗います。手のひらを洗います。

石鹸で洗い終わったら、十分に水で洗い、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

ふるさと納税による市税の減収額



令和2年度は、63億円を見込んでいます。本市は普通交付税の不交付団体であるため、減収額の75%を国が補填する交付団体の他都市よりも影響が深刻です。高所得者ほど節税効果が高くふるさと納税の課題について、本市は国に対し特例控除額に定額の上限を設ける等の制度の見直しを行うよう要請しています。

市民アンケートでふるさと納税により本市の減収額が巨額であるということ、令和元年11月にJR南武線の車内を始め市内各所に、市税流出の状況をお知らせする広報を行いました。

ふるさと納税の現状について

ふるさと納税によって流出している市税は、本来は、私たち川崎市民のために使われる貴重な財源です。

ふるさと納税による減収額

年度	減収額 (億円)
H28	12
H29	30
H30	44
R1	56
R2	63

令和元年度は56億円の減収額を記録しました。ふるさと納税の増加により、市税の減収額は年々増加しています。

3326件 これは何の数字でしょう。正解は令和2年1月までに申請された罹災証明書の件数です。

現場に入った人も沢山いると思います。私も台風の後、復旧で現場に入っております。幼稚園協会に携わっている関係で、まずは被災した幼稚園に入りました。現地に行くと、校庭は泥で30センチぐらいびっしりでした。階段でいうと、13段ぐらいある地下室は水でいっぱい。教室は泥だらけで、塗り絵は全滅。昨日まで子供達が愛らしく吹いていた鍵盤ハーモニカは泥まみれになっていました。みなさんも想像できる、幼稚園にあるピンクの象さん滑り台は、なんと数十メートル先まで流されて、大人5、6人でやっと持ち上げて運んでいる状態。正直何を片付けていいのか、何がゴミで何が必要なものなのか、わからずパニック状態でした。

3326件と数字一言で描写した事と、リアルな物語の差です。これは3326件の中のたったの1件ですが、3326全てにおいて悲惨な物語があるのです。

こうした数字を「リアルに感じる力」が政治においては必要である思います。困っている人の最も身近な声を聞くことが議員の大切な仕事だと思っています。そしてこの声を市に届け、対策を進め、形にしていくなために働いてまいります。

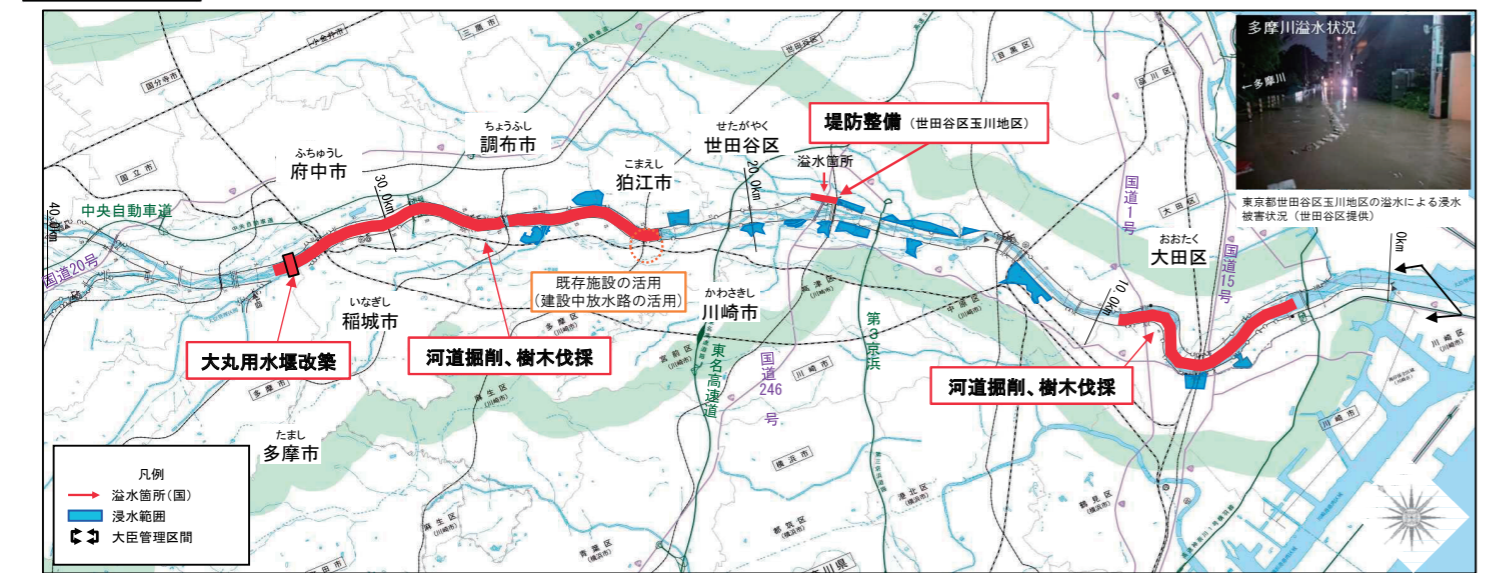
市・県からの要望活動もあり、国では早速、

(資料①) 台風被害を踏まえた令和2年度の取組 約81.9億円	
<被災者支援の取組> ・被災家屋等の解体撤去、費用償還等 約19.0億円 ・中小企業災害対策特別資金に関わる利子補給 約0.4億円 ・災害廃棄物の廃棄方法等の広報 約0.1億円	<地域防災力向上や災害対策本部機能の強化> ・避難所や区災害対策本部の資器材充実 約0.2億円 ・実践的な区本部訓練の実施等 約0.1億円
<台風の被害を受けた施設の復旧・復興等> ・羽田連絡道路整備に必要な堆積土砂の浚渫等 約30.3億円 ・多摩川緑地の復旧 約12.6億円 ・市民ミュージアムの収蔵品の修復等 約6.0億円	<地域のつながりの強化> ・消防団員の報酬引き上げ、貸与装備品の充実等 約0.2億円 ・町内会、自治会の加入促進の充実 約0.1億円 ※台風被害を踏まえた前年度の取組 約93.5億円 ・多摩川緑地の復旧、堆積土砂の撤去処分等

(資料②) 多摩川緊急治水対策プロジェクト
～首都東京への溢水防止及び沿川・流域治水対策の推進～

○令和元年10月台風第19号により、甚大な被害が発生した、多摩川において、国、都、県、市区が連携し、「多摩川緊急治水対策プロジェクト」として取りまとめました。
 ○国、都、県、市区が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、「社会経済被害の最小化」を目指します。
 ①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】
 ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】
 ③減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】

位置図 	■河川における対策 全体事業費 約191億円 災害復旧 約28億円 改良復旧 約163億円 事業期間 令和元年度～令和6年度 目 標 台風第19号洪水における本川からの越水防止 対策内容 河道掘削、樹木伐採、堰改築、堤防整備等	■流域における対策 (下水道事業等の整備促進) ・流出抑制施設の整備等 ・既存施設(五反田放水路(建設中))の活用による雨水貯留 ・下水道雑管等のゲート自動化・遠隔化等 ・移動式排水設備(排水ポンプ車等)の整備 ・土のう等の備蓄資材の配備等	■ソフト施策 ・自治体との光ケーブル接続 ・簡易型河川監視カメラの設置 ・多機関連携型タイムラインの策定、運用 ・講習会等によるマイタイムラインの普及促進 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進 ・自治体職員対象の排水ポンプ車運転講習会の実施等
----------------	--	---	---



※今後の調査・検討等により追加・変更がある。



被災直後の現地に

5年間で多摩川の浚渫掘削で191億円の予算をつけました(資料1参照)。まだまだ足りないとは思いますが、まずは予算が組まれて工事が始まるということが一歩前進です。市では今年度93億円を復旧対策費用に使用し、来年度はさらに82億円の復旧予算を組みました。地域のつながり重要性が再認識され、消防団の年額報の引き上げ(22000円↓36500円)や貸与装備品の充実に2000万円、町内会の加入促進のための予算として1000万円が組まれました(資料2参照)。引き続き、少しでも早く復旧が進むよう、市の取組みを注視してまいります。

川崎市総合計画における「かわさき10年戦略」の一環として「学校施設の環境整備」に取り組み、令和2年度予算では約77億4千万円が組み込まれました。

学校施設長期保全計画に基づく学校施設の改修により、安全で快適な教育環境を確保するとともに、早期に学校トイレの快適化を進めます。また、児童生徒の増加に対応するため、校舎の増築や小学校新設に向けた取組を推進します。

★ **学校施設長期保全に向けた取組**
 校舎 23校【補正含む】
 体育館 9校【補正含む】
 ★ **学校トイレの改修** (拡)
 工事实施 30校
 → **45校【補正含む】**
 (令和4年度までに全市立学校のトイレの快適化を実現)
 ★ **新川崎地区における小学校新設に向けた取組**



改修後イメージ

川崎市 KAWASAKI CITY
 LINE 公式アカウント
 市政情報はイベント情報、生活に役立つ情報をお届けします
 ※月に1、2回、市民の関心が高い情報、周知したい情報を発信します

